

『 陽だまり 』 工賃向上計画

(令和3年3月策定)

I 事業所の概要

事業所名	陽だまり		
事業所種別	就労継続支援B型	定員	40名
管理者	小菅 敦	担当者	小菅 敦
開設年月	平成 15年 4月	新体系移行年月日	平成 21年 1月 1日
所在地等	(〒 048-2335) 住所 余市郡仁木町銀山2丁目547番地 電話 (0135) 33-5737 FAX (0135) 33-5735 e-mail hidamari-2003@nifty.com ホームページ srbshouon.jp		
設置主体	社会福祉法人 後志報恩会		
運営主体	社会福祉法人 後志報恩会		
開設目的 (理念) (定款等から記載可)	当事業所は、適正な運営を確保するために人員及び間運営に関する事項を定め利用者が快適で充実した地域生活支援を提供するとともに、地域住民としての自立と社会経済活動への参加を促進する為に適正なサービスを提供する事を目的とする。		
運営方針 (定款等から記載可ですが、できるだけ今現在の具体的な方針と考え方を記してください。)	個別支援計画に基づき、利用者の心身の状況等に応じた適切な支援を行うとともに、福祉サービスが漠然かつ画一的にならない様に配慮し、利用者の意思決定及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立ってサービスを提供するように努める。地域住民や家族との結びつきを重視した運営を行い、関係機関等との密接な連携及び連絡調整に努める。関係法令を尊重し事業を実施する。		
利用者の障害程度 (手帳の保有状況) (3年4月1日現在)	身障	1級 2名、2級 1名、3級 名、4級 名、5級 名、6級 名	
	知的	A 5名、B 35名、B- 名	
	精神	1級 名、2級 名、3級 名	
	その他	名 (診断書等による者)	
利用者の男女の別	男性 24名 (平均年齢 46.1歳) / 女性 18名 (平均年齢 50.6歳)		
利用者への福祉的支援 (観点) に関する特徴、配慮 (送迎、余暇等)	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通機関の便が悪い為、送迎サービスを外部委託し実施している。 ・個別支援計画作成の為、個別面談 (アセスメント) を実施し複数ある作業種より可能な限り本人が希望する作業を行っている。 ・毎月、職員会議に利用者さんも全員参加し情報の提供・事業説明・意見交換等を行い可能な限り利用者さんの意見を取り入れるよう配慮している。 ・利用者の会の活動をサポートし行事等の内容・開催などバックアップし行事・余暇支援についても実施している。 ・当事業所内に共同生活援助業所を併設しており、地域生活支援と就労支援を一体的に実施している。 		

工賃向上対象以外の実施事業	
工賃の決定・支払方法 ※現在、利用者一人一人の工賃、あるいは全体の工賃水準を、どのように決定しているか記入	<p>定額支給と調整手当で支給に分け支給。</p> <p>* 定額支給 支給は原則として翌月 10 日（月単位で支給） 配分については当該月の出勤率に応じて支給。</p> <p>* 調整手当 当該年度末決算時において就労事業会計収支差額を支給。 配分については当該支給年度の年間平均出勤率に応じて支給。</p>

II 作業の内容

	作業名	内容（簡潔に説明）
①	ドライフラワー作業 (ドライフラワー作業・エコ作業)	ドライフラワー用の花栽培・管理・収穫・製品化 ブルーベリー採取、販売 食料廃棄物堆肥化事業 にくにくの栽培、収穫、黒にんにくの製造・販売
②	委託業務作業	同法人事業所の清掃業務委託 同法人事業所の洗濯業務委託
③	介護実習作業	同法人事業所の高齢者への介護補助を実施

※ 作業に従事する利用者が多い順にすべて記載してください。行が不足する場合は、適宜、挿入してください。

Ⅲ 目標工賃の設定

(1) 目標工賃

この表はエクセル形式です。ダブルクリックなどで開いてから入力してください。

		実績・見込み		目標			5年度の 対元年度比 (%)	
		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度		
A	目標平均工賃(月額) (円)	E÷F	12,516.0	18,297.9	18,400.0	18,600.0	18,800.0	102.7% (%)
B	年間総収入 (円)		13,307,895	19,600,000	19,700,000	19,800,000	19,900,000	101.5% (%)
C	年間総原価(工賃除く) (円)		8,169,978	13,000,000	13,500,000	14,000,000	14,500,000	111.5% (%)
D	工賃支払前収支 (円)	B-C	5,137,917.0	8,200,000.0	8,800,000.0	8,900,000.0	9,000,000.0	109.8% (%)
E	年間工賃総額 (円)		6,045,341	8,600,000	9,200,000	9,300,000	9,400,000	109.3% (%)
F	年間延べ利用者数 (人)		483	490	500	500	500	102.0% (%)
G	目標平均工賃(時間額) (円)	E÷H	118.0	164.0	175.4	177.3	179.3	109.3% (%)
H	年間作業時間数 (時間)		51,220	52,440	52,440	52,440	52,440	100.0% (%)

※目標工賃を時間額で設定する場合は、G及びHの項目にも、記入してください。

※「H 年間作業時間数」は、例えば作業している利用者数が6人、月間平均作業日数が19日、1日平均作業時間が5.5時間であれば、 $6 \times 19 \times 5.5 = 7524$ (時間) になります。

Ⅳ 目標達成に向けた取組

(1) 事業所全体

① 工賃向上を可能とする基本的前提

※ どのような前提が実現されれば目標とする工賃水準が可能になるかを記入してください。

ドライフラワー作業の売り上げ増が不可欠で、売上が伸びれば結果として工賃水準も上昇することとなる。
ドライフラワーが関東方面でブームになっており、自前での花の栽培増を図ることにより売り上げが伸びると考える。

② 取組の基本方針と具体的方策

※ ①の基本的前提を実現するために、施設全体として、どのような取り組みを行うか記入してください。

基本方針	(i) 販路の拡大 (ii) 諸物価の上昇に伴う販売価格の見直し及びコスト削減の実施 (iii) 新商品の開発・新たな作業種の取り組み
具体的な取組方針	(i) について * 継続し法人ホームページにて宣伝を行う。 * 積極的なイベントへの参加・販売。 * 関係機関・団体への訪問販売の実施。

	<p>(ii) について</p> <ul style="list-style-type: none"> * 食品加工製品の原材料費の高騰が継続している為、原価計算を定期的に行い販売価格の見直し及び仕入先の再検討。 <p>(iii) について</p> <ul style="list-style-type: none"> * 食品加工作業について新商品開発の検討・協議。 * 冬季間の作業種として除雪の委託作業の受注の拡大 * 農協からのミニトマトのヘタ取り作業の受注
--	---

③ ②の基本方針に関する現状と課題

※ ②を進めていく上で、支障となることを、経営的、福祉的視点を分けて記載してください。

※ ここで記載する現状と課題が、次の④（改善方策や支援の要請）に繋がるようにしてください。

経営的な視点	<p>燃料の高騰により作業へ負担が大きく将来的に作業種全体の見直しが必要になってくる。</p> <p>法人各施設（B型の施設）で連携し法人内での販路拡大を視野に入れる。</p>
福祉的な視点	<p>販路の拡大を行い生産性・効率性の向上を目指し作業工賃のアップを目指したいが、利用者さんの高齢化、それに伴う生産性の低下を考慮すると作業量の配慮も必要になってきている。</p>

④ 現段階で考えられる改善の方策と、行政、福祉団体、経済団体、企業、住民等に望むこと

※ ③の課題に対応するために、特に取り組むこと、あるいは行政や住民などに望むことがあれば記入してください。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 都市部での製品委託販売場所の提供 ・ 人が大勢集まるイベントの実施
--

(2) 作業別の取組方針

※ 複数の作業科目がある事業所は、従事する利用者の多い作業から順に3つまで記載してください（それ以上記載しても構いません）。

※ 取組方針欄は、該当項目を囲んでください。

※ 利用者の状態や福祉の支援についても考慮して記載してください。

作業名 ①	ドライフラワー作業（ドライフラワーグループ）
取組方針	<p style="text-align: center;"> 強化 現状維持 縮小 撤退 </p>
理由	<p>（理由）販売先・卸先は安定しており、ドライフラワーに関してはほぼ販売できている。安定した花作りを実施し安定した収入を目指す。</p> <p>売り上げが多い品種に重点を置き栽培・商品化を行い効率よく作業を行う。</p> <p>ブルーベリー栽培、販売について安定した収入の見込める為、継続する。</p> <p>また、本州でドライフラワーのブームになっておりこの機会を売り上げ増に繋げたい。</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>経営環境分析 ※ 内部環境（〔強み〕、〔弱み〕）、外部環境（〔機会〕、〔脅威〕）を自己において整理することで、経営方針等を策定する材料とするものです。可能であれば記載してください。</p> <p>〔強み〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 北海道のネームバリュー ・ 製品の卸先が安定している（東京） ・ 低価格 <p>〔弱み〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 花の栽培は天候に左右されやすい。 ・ 地域の農家の方に花の栽培を委託しているが高齢化により件数が減少。 ・ 生産計画等の計画性に乏しく作業ロスが多く効率性が悪い。 ・ 利用者の重度化、及び作業力の低下。 ・ 原油の高騰が利益に大きく影響する。 <p>〔機会〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 近郊に委託販売先があり町内外4箇所にて常設販売を実施。 <p>〔脅威〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原油の高騰。（花の乾燥にボイラー使用） ・ 花栽培の委託先農家の高齢化、委託先の減少。 ・ 利用者の高齢化、障害の重複化
目標	<p>利用者の高齢化、重度化も進むが現状の収入の安定化を図る。</p>
具体的な目標達成策	<p>① 収入面について （商品開発、価格設定、販路拡大、宣伝広告など）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ インターネット販売の再検討 ・ 継続した近郊の委託販売の継続。 ・ 夏季期間の環境整備及び冬季間の除雪等の委託作業の継続。 <p>② 支出面について</p>

(仕入れ、業務改善、コスト低減など)

- ・材料の仕入れ先の見直しと低コスト化を図る。
- ・継続し食料廃棄物の堆肥化事業で出来た堆肥を自家消費し肥料購入の節減を図る。

③ その他

- ・利用者の高齢化も考慮し作業内容・方法の見直しを行い作業量の調整を行う。
- ・生産計画を具体的にし、無駄を省き、効率よく生産性・効率性を上げる。
- ・作業種について中長期計画を作成し再検討を行う。

作業名 ②	ドライフラワー作業（エコグループ）
取組方針	強化 現状維持 縮小 撤退
理由	<p>(理由)</p> <p>食料廃棄物の堆肥化事業はともに環境を考えたエコ事業で循環型の事業を実施できる。また食料廃棄物の堆肥化事業についても同法人事業所・レストラン等で出た食料廃棄物の回収・処理委託を受け堆肥化作業を行い出来上がった堆肥は事業所の畑に使用しコストの削減を図る。</p> <hr/> <p>経営環境分析 ※ 内部環境（〔強み〕、〔弱み〕）、外部環境（〔機会〕、〔脅威〕）を自己において整理することで、経営方針等を策定する材料とするものです。可能であれば記載してください。</p> <p>〔強み〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・循環型のエコ事業で経費削減が図れる。 ・需要がなくなることがない。 <p>〔弱み〕</p> <p>〔機会〕</p> <p>〔脅威〕</p>
目標	安定的なエコグループ作業を継続し、ドライフラワー班の作業工賃の安定化に繋げる。
具体的な目標達成策	<p>① 収入面について (商品開発、価格設定、販路拡大、宣伝広告など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食料廃棄物の堆肥化事業については継続事業とする。 <p>② 支出面について (仕入れ、業務改善、コスト低減など)</p> <p>③ その他</p>

作業名 ③	ドライフラワー作業（にんにく等）
取組方針	強化 現状維持 縮小 撤退
理由	<p>(理由) 原油高騰による諸物価の価格上昇・不景気の影響で売上げが伸び悩み作業工賃への影響が見られる為、新規に黒にんにくを製造し工賃アップを図る。</p> <hr/> <p>経営環境分析 ※ 内部環境（〔強み〕、〔弱み〕）、外部環境（〔機会〕、〔脅威〕）を自己において整理することで、経営方針等を策定する材料とするものです。可能であれば記載してください。</p> <p>【強み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 手作りによる品質。 ・ 価格的にも比較的安価で、味にも定評がある。 ・ 法人内事業所からの製品発注・消費が定期的にある。 ・ 北海道のネームバリュー <p>【弱み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 手作りの製品の為、大量生産が難しい。 ・ 販売価格が低く利益が少ない ・ 販売促進、営業力 <p>【機会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 同法人事業所と連携を行なう事で収入増の可能性がある。 <p>【脅威】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 諸物価上昇による原材料費の高騰
目標	販路拡大と新製品の開発による販売量の増を目指し作業工賃の増額を目指す。
具体的な目標達成策	<p>① 収入面について (商品開発、価格設定、販路拡大、宣伝広告など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 法人HPでの製品PR。 ・ 同法人事業所（レストラン等）と連携し製品のPR、販売増を目指す。 ・ 町内外の即売会に積極的に参加し売り上げ増を目指す。 (定期的に試食会を事業所内で実施し商品開発に力を入れる) <p>② 支出面について (仕入れ、業務改善、コスト低減など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原価計算を厳密に定期的に行い、適正な販売価格の設定を協議する。 ・ 光熱水費を節約し経費節減を図る。 ・ 原材料の仕入先の再検討（コスト削減） <p>③ その他</p>

◎新規事業、あるいは設備投資による大幅な規模拡大を計画している場合は、次項も記載してください。

※ 取組方針欄は、該当項目を囲んでください。

作業名	
取組方針	<div style="display: inline-block; width: 45%; text-align: center;">新規</div> <div style="display: inline-block; width: 45%; text-align: center;">大幅な規模拡大</div>
商品・サービスの 内容	
顧客・市場規模・ 販路	<p>(対象顧客)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ・ <p>(市場規模)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ・ <p>(販路) ※製造業、農業等の場合に記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ・
競争と差別化	<p>(ライバルの状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ・ <p>(差別化の視点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ・
設備投資と資金	
収支と工賃	

V 取組の年次計画

※取り組む事項を簡潔に記載してください。

・ 3年度 (実施済を含む)

- ・ 陽だまりの事業再編 多機能型へ移行準備 (就労継続B (定員20名) 生活介護 (定員20名))
- ・ 高齢利用者が継続して働ける環境作り
- ・ 黒にんにく製品の製造個数の定着

・ 4年度

- ・ ドライフラワー班の新たな作業場での作業展開
- ・ ドライフラワー製品の新たな受注先の確保

・ 5年度

- ・ 利用者の高齢化による作業班の見直し

(以下は、可能であれば記載してください。)

○固定資産の状況

※元年度(または2年度)の減価償却費の大きなものを中心に、可能な範囲で記入してください。(単位; 千円)

資産名 (作業科目)	取得年	取得価額 (耐用年数)	29年度末 償却済額	減価償却費 (30年度)	減価償却費 (31年度)	減価償却費 (32年度)
()		(年)				
()		(年)				
()		(年)				

○投資計画(設備の内容、資金調達方法)

(単位; 千円)

設備の内容・投資額		資金調達方法	
作業(事業)名:		自己資金 借入 その他	
a 設備名			
b 設備名			

設備の内容・投資額		資金調達方法	
作業(事業)名:		自己資金 借入 その他	
a 設備名			
b 設備名			

○積立金の状況

※授産事業と関係の深い積立金等があれば可能な範囲で記入してください。(単位; 千円)

積立金名	目的	29年度末積立額	32年度までの使用見込み